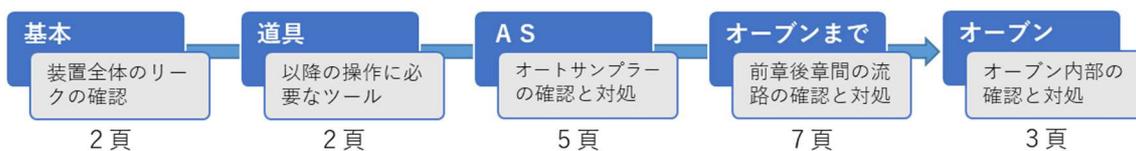


はじめに

FLASH SMART における一連の漏れ対策マニュアルでは、各ページの下部にあるように『リーク対応：基本→道具→AS→オープンまで→オープン内部』の五章からなります



基本：標準的なリークテストの手法について説明・実施

FLASH SMART 及び Eager Smart における簡単な標準的リークテストを行います。まずは、この操作を実施し流路に漏れがあるかどうかを確認しましょう

道具：以降の操作に必要なツールについて確認

標準的リークテスト以降の、ある程度複雑な操作、装置自体に変更を加えたりするような操作に必要な道具について説明を行います。一般的な症状であればここに並べる道具が揃っていれば対処できると思われます（ただし、ここには交換すべき消耗品は含みません）

AS：AS（オートサンプラー）でのリークの確認・対処

ここでは本体 2 番ポートからオートサンプラー出口までの間のリークの発見方法及び対策について説明を行います（FLASH は基本的に流路の入り口に近い側から確認していくのが流路の理解の観点からも推奨されるため上図の順番での確認を推奨しています）

オープンまで：AS からオープンに入るまでのリークの確認・対処

反応管、（分析元素によっては吸収管も含む）についてのリークの発見方法及び対策について説明を行います

オープン内部：オープン内部でのリークの確認・対処

カラム、TCD の入口出口でのリークの発見方法及び対策について説明を行います

以上、次章より内容を確認の上、安全に心がけて作業を実施してください